

平成30年度決算報告 町の家計簿をお知らせします

町の家計簿をお知らせします

平成30年度の神崎町一般会計と特別会計、企業会計の決算が9月定例議会で認定されました。

皆さんに納めた税金や、国・県からのお金がどれだけ町に入り、どのように使われたかを知つていただくために、ここでお知らせします。

一般会計の決算は、前年度と比較すると、歳入は減少、歳出は増加となりましたが、決算収支については黒字決算となりました。

平成30年度は、町道神宿松崎線及び毛成堀籠線整備事業や給食センター設備更新など、投資的事業を中心実施しました。

今後も、「発酵の里・健康笑顔のまち「こうざき」の実現に向けた町づくりを進めていくために、より安定した財政基盤の確立を目指して、さらに効率的な行財政運営に努めていきます。

一般会計

歳入

歳入総額は、27億9026万9千円（前年度比0・1%減）、歳出総額は、26億3686万3千円（前年度比0・9%増）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、1億3746万8千円となりました。

歳入の26・7%を占める町税収入は、個人及び法人町民税の增收により、前年度に比べ4001万2千円（5・7%）の増となりました。

完了などに伴い、前年度に比べ7708万6千円（21・5%）の減となり、町債についても1294万1千円（11・3%）の減となりました。

平成30年度に実施した主な事業は下記のとおりです。

財政状況では、財政調整基金を始めとする基金残高が増えるなど、行財政改革の成果があがつてきている一方で、経常収支比率（経常的に収入される税金や交付税などの常的経費が19億4228万1千円（前年度比2・0%増）で、全体の73・7%を占めています。地方交付税と町

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常経費が19億4228万1千円（前年度比2・0%増）で、全体の73・7%を占めています。道路や公共施設の整備などを行うための投資的経費は2億1122万1千円（前年度比19・1%

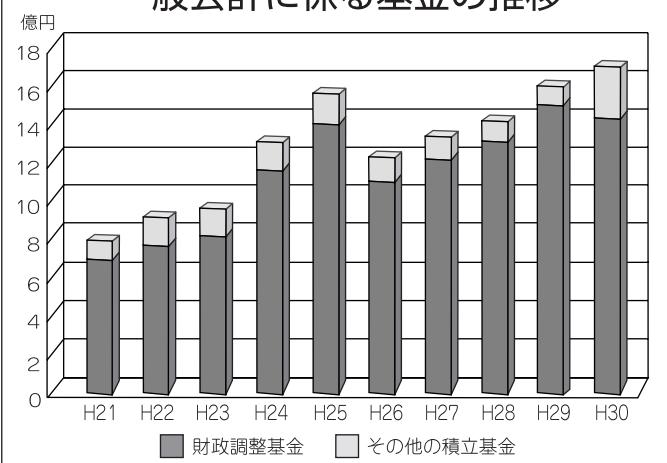
歳入総額は、27億9026万9千円（前年度比0・1%減）、歳出総額は、26億3686万3千円（前年度比0・9%増）で、歳入から歳出を差し引き、さらに翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支額は、1億3746万8千円となりました。

歳入の26・7%を占める町税収入は、個人及び法人町民税の增收により、前年度に比べ4001万2千円（5・7%）の増となりました。

地方交付税（国から町へ交付されるお金）は9億5972万2千円で、前年度に比べ868万円（0・9%）の増となりました。また、町の貯金である財政調整基金は、288万4千円を取り崩し、年次末の残高は13億952万8千円（前年度比2・0%減）となりました。

歳出を性質別に見ると、人件費、補助費、物件費、公債費や扶助費などの経常経費が19億4228万1千円（前年度比2・0%増）で、全体の73・7%を占めています。道路や公共施設の整備などを行うための投資的経費は2億1122万1千円（前年度比19・1%

一般会計に係る基金の推移



平成30年度に実施した主な事業

- 町道神宿松崎線及び毛成堀籠線整備事業
(測量調査設計業務) 3974万円
- 給食センター食器洗浄機更新事業 1904万円
- 米沢保育所乳児室増築事業 1075万円

